

## 第1回倉吉市中学校部活動地域展開等推進協議会（概要）

1 日 時 令和7年7月30日（水）午後2時から午後3時50分

2 場 所 倉吉市役所 3階 議会会議室

3 出席者

(1) 委 員 スポーツ協会、中学校 PTA 連合会、スポーツ少年団、中学校体育連盟、中学校文化連盟、地域学校委員会、鳥取県教育委員会事務局体育保健課

(2) 事務局 教育長、事務局長、学校教育課、社会教育課

4 経過報告

5 協議事項（主な内容）

(1) 倉吉市中学校部活動地域展開等推進協議会会長及び副会長の選任について

○会長：スポーツ協会 副会長：中学校 PTA 連合会

(2) 倉吉市中学校部活動地域展開等改革推進期間及び改革実行期間における考え方（素案）について

[主な意見等]

○中学校部活動は令和13年度までに地域展開する中で、休日だけを地域で、平日は学校部活動として活動を残すということで良いか。

⇒現在のところ、平日は学校の部活動として、休日は地域に展開するとして、生徒の活動の機会を確保するとしている。

○地域の受け皿があれば、指導者の都合に応じて活動が可能であれば、平日も含めて地域展開できるのではないか。

○保護者としては、一度家に帰るものなのか、学校活動の延長としてできるのか、最終的な形がどうなるのか心配。

⇒基本的に平日の部活動は学校に残る。休日の部活動をどういう形で進めていくことができるかを考えているところ。すでにあるクラブチームと部活動とはまったく別物で考えていくことになる。

○平日の部活動は働き方改革で時間が取れないと聞く。今後、平日の部活動は縮小の方向か、何らかの形で残っていくのか、その辺の線引きができるのか。

⇒国の考えは、休日の受け皿を各市町にあった状態で移行。平日の部活動は学校で行うというもの。

○経費とお金の問題があるが、地域展開となると金銭的な負担が大きくなる。そういったフォローをどうしていくか明白にしていきたい。

⇒活動費の支援は今後、検討していく。地域展開していく中で協議項目としてあるので、そのときに協議したい。

○この会で協議していく地域展開は学校との連携が大事だと思う。学校と地域クラブとの連携が全くないわけにはいかない。学校の中にコーディネーターをつくっていく必要があるのではないか。今後の検討課題の1つとしたい。

○学校部活動の延長上で、休日は地域展開ということであれば、情報交換は必要かと思う。まったく休日は完全に地域にお任せすることになった場合、公的に生徒のことを地域の指導者と情報共有し

て連携していくのは難しいのではないか。

- 小さいときからスポーツ等を全くしてこなかった子どもにとって、中学校で部活動に出会うことは、何かを始めてみようというチャンスになる。それがクラブチーム等の外の団体になるとそのチャンスが奪われることになる。そこにコーディネーター的な人がいて、つないでくれるとよい。
  - いきなり部活動を地域展開するといろいろな問題が出てきて進まない。部活動指導員や外部指導員等の人が指導する地域連携という形で進めたり、今あるスポーツ少年団とかが中学生を受け入れるという形の方が難しくないと思う。
  - 地域の指導者の立場では、中途半端だと学校にも気を遣う。地域のほうに移行できるであれば全部任せてほしい。
  - 大会に学校の部活動のチームで出場するか、地域クラブで出場するか選択できるので、部活で頑張ってきた子どもが日の目をみなかったり、活躍の場がなくなったりすることがないようにしてほしい。
  - この会は平日は基本学校で、休日を地域展開するということなので、学校との連携は絶対にあり、学校からいったん帰って行くクラブチームのことを検討する会ではないということによりか。
- ⇒休日の部活動をどう地域展開するか検討する会である。

### (3) 倉吉市中学校部活動地域展開等に係る児童生徒および保護者へのアンケート（案）について

- 保護者に対するアンケートで地域展開という言葉があるが、根底の説明がなければ意味がわからない。
- ⇒地域展開の説明もアンケートと合わせて行うことを検討したい。
- 中学校の部活動が平日のみとなった場合、休日の部活が学校主体ではなく、地域の団体等が運営する活動とある。これだと、本当に完全なるクラブチームのようなイメージを受けるので、ここの文言は変更した方がいい。
- 小学校のアンケートは絶対に必要でしょうか。今回は中学校だけにするというのはどうか。
- ⇒小学校5・6年生も対象にした意図は、検討を進めていく間に確実に中学生になる子どもであるので、対象に含めたところ。

### (4) その他

- 休日の部活動の指導者を誰がどうやって探すのか。どこまで指導力があるのか、保護者はどう把握すればよいのか。
- ⇒外部指導者については、学校が地域とのつながりの中で情報を得てお願いする機会が多い。部活動指導員は、市の職員として公募を行うことになる。また、スポーツ協会の競技団体の方に指導をお願いできないか今後話をさせていただくことを検討している。